

平成 27 年度第 1 回理事会

日 時：平成 27 年 4 月 4 日（土）12:30～14:30

場 所：弘前市総合学習センター

出席者：原、白井、平川、中居、上谷、小枝、阿部、澄川、算用子、成田、安原、加藤、佐々木良

書 記：椎名、戸澤

計 15 名

【報告事項】

1. 会長報告

3 月 14 日 弘前医療福祉大学卒業式出席（代理 相馬理事）

3 月 14 日 東北メディカル学院卒業式出席（原会長）

3 月 19 日 青森県医療審議会出席

平成 27 年度医療介護総合確保促進法に基づく県計画（医療分）策定のための事業提案「訪問リハビリテーションの人材確保を図るための事業」は、「平成 25～27 年度地域医療再生計画の多職種協働による在宅医療専門研修事業」で対応可能であるため、医療介護総合確保促進法に基づく県計画には盛り込まないことになった。

3 月 20 日 健やか力推進センター（仮称）に係る関係者懇談会出席（原会長、平川理事）

4 月 2 日 東北メディカル学院入学式出席（原会長）

4 月 3 日 弘前医療福祉大学入学式出席（原会長）

[地域リハビリテーション活動推進について]

3/12：OT 協会上村会長より以下の通知があった。

日本リハビリテーション病院・施設協会より「地域リハビリテーション活動の推進について」ということで、添付【通知】の協力依頼が三協会へございました。

本件につきまして、三協会としても三協会長の合意のもとに、協力体制をとっていくこととなっております。

つきましては、まず添付資料【通知】をご確認いただき、各都道府県の三士会において連携をとっていただけると幸いです。

日本理学療法士協会、日本言語聴覚士協会からもそれぞれの各士会へ同様の通知が配信されております。

※医療審議会の後、斉藤医師会長と一戸健康福祉部長のところに古木名 PT 会長と共に 3 士会合同で窓口を設置して対応に当たることを伝えた。医師会には文章を手渡し、郵送は不要とのことだった。県関係には後日送ることとした。一戸部長からは、遠慮せず直接なんでも連絡してくださいとの助言をいただいた。窓口は、PT 士会に置いてそ

の後の連絡体制を強化することにした。

2. 各部局委員会報告

<事務局>

[会員数 (4月1日現在)]

正会員数合計 719 名 (内、平成 26 度入会者 60 名)

正会員所属施設数合計 155 施設 賛助会員数合計 6 施設

(内訳)

ブロック名	正会員数	施設数	ブロック名	正会員数	施設数
弘前ブロック	225	38	西北五ブロック	45	14
八戸ブロック	193	44	上十三ブロック	50	13
青森ブロック	178	36	下北ブロック	28	11

※会費未納者 4 名に対して 3/11 に督促状を発送

→入金 3 名, 未納のため会員資格喪失の該当者 1 名

[渉外活動 (3月4日~3月27日)]

委員等推薦: なし 後援等: なし

[会計監査について]

4/1: 会計監査を受けた。

[年度当初の会計処理について]

・平成 27 年度活動費支給スケジュール

~4/上: 活動簿フォーム, 金銭出納帳フォーム, 会計マニュアルをメールにて送信

活動費の約 80%を通帳へ入金

・会費納入スケジュール

4/1 : 口座振替予定者確定: 616 名 (平成 26 年度実績: 564 名)

振り込み予定者確定: 103 名 (平成 26 年度実績: 107 名)

4/27: 口座振替日

4/30: 銀行振込納入期日

5/8 : 振替結果通知 (平成 26 年度実績: 551 名振替可能, 11 名振替不能, 2 名中止)

[メディカルオンライン学会員無料閲覧サービスについて]

会員は「青森県作業療法研究」を学会誌電子ジャーナル無料閲覧サービスメディカルオンラインで閲覧ができるようになった。ID やパスワードは郵送で周知する。

<学術部>

機関誌「青森県作業療法研究 第 23 巻第 1 号」の発行 (平成 27 年 3 月 29 日)

特集: 基調講演 1 編, 特集: 生活行為向上マネジメント 5 編

症例報告：11 編，実践報告 2 編

<教育部>

なし

<広報部>

1) ホームページの管理・運営

3/2-3/24 (3 回の更新の内訳)

更新情報：1 件の情報をアップした。

学会・研修会情報：5 件の情報をアップした。

2) 新入会会員勧誘活動の実施

日時：平成 27 年 3 月 13 日 (金)

場所：学校法人弘前城東学園 弘前医療福祉大学

日時：平成 27 年 3 月 12 日 (木)

場所：学校法人臨研学舎 東北メディカル学院

日時：平成 27 年 3 月 23 日 (月)

場所：弘前大学医学部保健学科作業療法学専攻

<渉外部>

3/11 県計画策定のための事業提案書についての問い合わせに応じた (平川理事)。

3/12・17 健やか力推進センターの組織、活動内容について情報収集した (平川理事)。

3/16・19・27 県計画策定のための事業提案 (医療分) を他事業 (H25～27 年度地域医療再生計画「多職種協働による在宅医療専門研修事業」) で対応することについて、県担当者とやり取りした (原会長、平川理事)。

3/20 健やか力推進センターに係る関係者懇談会に出席した (原会長、平川理事)

<福利部>

なし

<保険部>

1) 日本作業療法士協会保険部からの情報を県士会員に提供した。

2) 3 月 8 日 (日)「平成 27 年度介護報酬改定に関する講習会」開催 (参加者 24 名)。

3) 介護報酬改定に関する新たな情報をホームページにて提供した。

4) 講習会の中で回答できなかった質問を OT 協会へ問い合わせた。返答届き質問者へ回答済み (ホームページでも情報提供した)。

<規約委員会>

- ・3/19 第6回理事会の決議に基づいて、「申し合わせ事項のまとめ」の学術部(生涯教育制度対象研修会の受講料)及び事務局(研修会参加費)を一部変更した。

<倫理委員会>

特になし

<選挙管理委員会>

なし

<第28回青森県作業療法学会>

平成27年3月12日 第5回常任実行委員会を開催した。

- ・弘前大学の改修工事が延期したため、当日の大学駐車場は使用不可となった。
- ・機器展示はサカイ医療の追加あり。3社となる。

<第26回東北作業療法学会実行委員会>

第10回実行委員会(2015.2.23 弘前大学医学部保健学科)

- 1) ホームページを更新した。
- 2) 演題登録状況、広告募集状況報告
- 3) 当日運営のプランの立案、検討

<地域作業療法推進委員会

: 地域包括ケアシステム・地域支援事業・地域ケア会議推進小委員会>

3/22 地域包括ケアシステムや地域ケア会議に関する情報収集の実施(藤原委員長)

十和田市において7月、地域ケア会議が実施され、市内の困難事例(老老介護世帯、認知症、障害者2名以上の世帯、公共交通機関なし事例、独居世帯、豪雪等)の検討がなされ、地域の資源(種々のボランティア団体、見守り等のネットワーク等)の活用や地域の資源構築、市町村施策への反映、他職・他団体の連携が進められている。通常、困難事例は地域包括支援センターに相談しているが、今後は地域ケア会議で検討されることになる。主な構成員は、行政、ケアマネ、町会長・区長、民生員、地域包括支援センター職員(保健師、ケアマネ、社会福祉士など)。

作業療法士が関わっている会議に関する情報はなかったため、今後積極的に関わっていくためには、地域ケア会議に招集されるよう自治体への広報活動が重要であると考えられ、次年度は広報活動も企画していく。

また、地域ケア会議に出席するためのスキルとして、制度の理解、地域資源の構築および活用方法、身体および精神機能障害の幅広い理解と対応方法、他職種の仕事の理解と連

携，に関する知識が求められるため，これらに関する研修会を次年度に向けて企画していく予定。

地域ケア会議に参加した職員からは，対象者の機能・能力予測が不十分にならないようリハ職の的確な助言があるともっと有意義な会議になるとのことであった。

<地域作業療法推進委員会：生活行為向上マネジメント推進小委員会>

OT協会から各種の情報が随時発信されている。

3. 各ブロック活動報告

<弘前ブロック>

・平成27年度弘前ブロック研修会①，②開催について講師依頼文(3/30)を送付した。

<八戸ブロック>

特になし

<青森ブロック>

なし

<西北五ブロック>

なし

<上十三ブロック>

ブロック委員について、十和田市立中央病院の中村先生が産休となった為、三沢訪問看護ステーションの佐倉先生にブロック委員をお願いしました。

<下北ブロック>

特にありません。

【協議事項】

1. 平成26年度事業報告・決算報告について

(1) 平成26年度事業報告について

承認された

(2) 平成26年度決算報告について

承認された

2. 平成 27 年度事業計画（案）・予算（案）について

(1) 平成 27 年度事業計画（案）について

承認された

(2) 平成 27 年度予算（案）について

承認された

3. 平成 27 年度総会議案について

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告

第 2 号議案 平成 26 年度決算報告・監事意見書

第 3 号議案 平成 27 年度事業計画及び当初予算案

第 4 号議案 次期学会長について

担当：青森ブロック

学会長：安田 卓 氏（青森県立中央病院）

第 5 号議案 その他

承認された

4. 県学会応募演題及び事例報告読み替えの査読について（教育部・学術部）

前回の理事会で、県学会応募演題の査読を H28 年度の県学会から導入することが承認された。それを受け、査読の流れ、審査項目を「県学会演題採択に関する申し合わせ」及び「県学会演題査読回答書」に示した（別紙参照）。OT 協会・東北学会と同じような流れにして、第 1・第 2 査読者を設けず、2 名の査読者が同時に審査する。それ以降を学会の演題採択委員会に委ねることにしたい。また、昨年度、理事会で承認された「事例報告への読み替えに関する申し合わせ」及び「事例報告査読回答書」もこれらにならって修正したい（別紙参照）。今回は、それぞれの査読の流れ、審査項目を中心にご審議願いたい。

承認された

5. 科学技術振興機構データベース収録について

独立行政法人科学技術振興機構より、「青森県作業療法研究」について、データベースへの登録許諾の依頼があった。許諾することとする。

承認された

6. その他

(1) 教育部主催研修会のコストパフォーマンスについて

継続審議